

5

1959年11月19日

# 意識の差をなくし 組織の充実を

後期自治會委員長： 笹尾 哲夫



われらが都立の現状は、一部活動家に仕事が集中してゐることや、色々な集会への参加者がだんだんと少くなつてゐる現象から半ば脱退がはじまつて、自治意識低下の一途をたどつてゐる。そして一方、生徒の意識の代表なる自治委員達のやつてゐる

# 都高時業

都大附高新聞部  
東京都目黒区金町591  
電話桂原(717)0749  
編集 武山伸昭

——張——「自治の停滞」とは、に一小市民階級の一部をしめて  
——主——ひの二三年、事ある事 じるので、生きるための苦勞は  
——に言われて来た言葉で そんなに厭わない、三度の飯  
——ある。それは階級ごとつ様な事 も十分食える。ひまがあれば、  
——ではなくむしれなうか、戦争 レッドページにいたるわざわ 映画に行ったりスポーツを楽しむことができる。「自由の伝  
——レッドページにいたるわざわ れの人間性を無視し、自由を圧 統」につづて先輩から言われ  
迫したものに対する闘いが一段 それを真剣に考える事なしに天  
落したその頃から、もう沈 下り式に受けついだ。そして何  
んだ状態に入りこんだ。これが だかしらなうが、中学校あるじ  
いわゆる停滞ごとく状態なのだ は他の高校のよつて、面倒くさ  
う。そして、ひの二、三年 い拘束がない。「ああこれが都  
は、われわれの自治は何とか 立の自由か!」こんな調子でル  
そのけだるい状態から脱しよう ーズな高校生活を送っている。  
と努力してきた。それはなかなか困難だった。そしてついに だねてその日その日を意味もな  
は、その状態から脱しようと くすうしてゐる。  
たせじのような状態になつた 人類の将来、人生の目的につ  
のたまつ。われわれは幸いな事 いて考へる人が何人いるだろう

都大附新聞部 東京都目黒区金町591  
電話番号(717)0749  
編集者 武山伸昭  
責任者

等々くらぐで、われわれは特に自治の必要を感じられない社会に生きていた。しかしあく少し正確に言えば「特に自治の必要も感じられない」というべき「われわれはしないように慣らされた」社会に生きていた。「受験、就職、これひきおいて何が自治だ」という考え方「われわれは次第次第に慣らされてい

るのだ。

そしてわれわれの家庭、特に大多数をしめた中産階級の家庭はこれらの考えに拍手をかけていた。これらの裏には深い社会的圧力、安定化、組織化された資本主義社会の圧力が秘められていたのだ。ところで歴代の自治委員会は、これらの動きあまり関心を持らなかつた。何故かどううと彼等の興味はまた別に存在したのだ。えらばれ

たやまち自治委員達といひえる古い統一華やかだった对外活動の伝統は彼等をしていたまわるその目標社会に向けさせた。

「次第に逆行への道を歩んでいく」立向かわねばならぬ。」徳等はそれに慶申になつた。かくして意識低下をきたしていく国家権力と、それによって生みだされた社会悪に対しても立ち向かわねばならぬ。」

もたない。ことを予想させる。自治の強さが審判の配したされるに、それはたとえば、学校の人が都教育厅の支配下に置かれ、自治活動の一切禁止命令が下される日なのだ。そういう特質の通じて、ついで、指導層と生徒の遊離していく自治が敢然として圧力に対抗するところが出来るであろうか。これらの審判はいかれるされるであろう。なぜならば、いまは自治委員や、その他一部の活動家のみがとりあつがつて、いる社会の悪化は必然として存在するからである。

この審判に耐えるため、われわれの利益を守るために「貢献の団結闘争をはかり、学園の民主化發展につとめる」という自治の意義が、いまなお存在するため、自治をたてなおさねばならない。たてなおすことはどうじうことかだろう。それは意外に身近なことだ。「ホーム・ルームの発言数を増やすこと」・「生徒会の発言数を増やすこと」・「みんながわれわれに關係ある問題をじっくり考える習慣をつけること」・それらが成功しては

二年生の発言なし

た政治問題特に現在安保改定等重要な問題があるが、セナ鏡講演等による意識の醸成を行ひたい」と言った。これに対し前回は譲退した小林君が、「前半の方針は同じだが、政治問題に關し、皆尾君の方針態度に不満があるので、私は立候補をする。まず安保改定は、時代に逆行するものであり、日本を被滅ぼくものだ。私個人としては断固反対である。だからもう一つ積極的にこれを取り上げたい。その他、勧評、原水爆禁止運動等に關しても積極的にこれをあげる」と述べた。

で、アンケートでか。たゞ、最も良い方法は実際の自活サークル活動によるものにしてしまう。部室は完備していくべきか？ 予算はどうだろう？ 級増がなされるといふ話がわれに完全に伝わっているがどうか？ これらの判断は科学的になされねばならない。調査構の充実、正確な分析への努力が必要だ。

自治委員会はこれらの方向を目指して前進するであろう。

日本は、戦争は国際的地位が高まつたとだけ教えるようにし、侵略戦争だつたとか、『君死に終うことなかれ』的文章、写真などを削り切つてきている。▼日本の大学祭の公開討論会の時、床次氏（自民党）は遂に『太平洋戦争は侵略戦争じゃなかつた』といつてしまつた。これで本根を吐いたといえよう。▼とにかくアメリカ大使館援助で好戦的な映画をどんど作つたり、ラジオで、体制、ブルジョア、プロレタリア、侵略主義、階級等々のコトバが禁止されたり、やたらに勲章を欲しがつたり、旧軍人が、國上で幅をきかしてきたりするこは、日本の進む道を逆の方向へ歩むことの他に何ものでもない。

現在日本は、われの知らない間に、戻りつある。それはアメリカの目標として、原子弹が、ソ連に敗れた事である。これによりて米国は日本のアジアにおける重要性を認識し、何とか、日本を核武装させて、落ち日の米略を立て直そうとしたのである。▼そうして五七年六月の訪日以来、日米新時代といふのあと、自衛隊の核武装、米相互防衛協定の締結、勧説実施、警職法改悪、軍機保護の制定、社会教育法の改悪、選舉区制の実施、憲法の改悪その他多くの一連の軍國化立事が、無理に强行されようとする事態になつたのである。▼國主義、軍国主義への逆刃スをグッと前に進めるのが保政案である。日本政府おび資本家は、核武装を米国から承諾するかわりに、アジアの主たることを主張する権利を、東南アジアにおける彼等の市場を確保するのに懸念であつて、東南アジアの一角考が、へ

十一月二十日 恋危決バ 葉菓御

十一月十七日	<b>読書の秋！</b>	17日～23日 ニューヨークの王様、青い大きな海、大学は花さかり
--------	--------------	-------------------------------------

ひとすじに遊びに谷東  
スクリミー隊断  
（十一月十四日）  
ひとすじに遊びに谷東  
スクリミー隊断

<p>戦 奇 襲 部 隊 急</p> <p>日 月 二 十 八 日</p>	<p>小説・参考書・雑誌</p> <p>なら</p> <p>都立大学駅西口</p> <p><b>YAGUMODO</b></p> <p>T E L (717) 2339</p>	<p>24日～30日 レッドリバー大進軍、挑戦</p> <p>12月1日～7日 熱砂の海、地獄に続く部屋、激怒</p> <p>8日～14日 年上の女、私のお医者様、黄昏に帰れ</p> <hr/> <p>学生・1般55円、早朝50円、夜間・小人40円</p> <p><b>自由ヶ丘劇場</b></p>
---------------------------------------	--	---

www.ijerpi.org | 2020, Vol. 8, No. 1 | ISSN: 2321-9010 | DOI: 10.5281/zenodo.3990220

TEL (717) 337-9

白旗校長は以前から、授業との関係からやめる事を表明していたが、後任の選出の難行により、なかなか決定をみなかつた。しかし九月十五日の大学の教授会より、理学部の穂刈四三二教授が後任に決定、十月一日付で就任した。同じく七日に白旗前校長、穂刈新校長の退職就任のあいさつがあつた。

白旗前校長はお得意のゲーテの言葉を引用して、「ゴーリイの前にこそ意味がある。ゴールに達するまでは、苦悩、鬱争が樂しく出でる」と言わられ、拍手におくられて去つた。

白旗前校長はお得意のゲーテの言葉を引用して、「ゴーリイの前にこそ意味がある。ゴー

ルに達するまでは、苦悩、鬱争

が樂しく出でる」と言わられ、拍手におくられて去つた。

白旗前校長はお得意のゲーテの言葉を引用して、「ゴーリイ

の前にこそ意味がある。ゴー

ルに達するまでは、苦悩、鬱争

が樂しく出でる」と言わられ、拍手におくられて去つた。

## 白旗前校長 → 穂刈新校長

### 座談会

## 学生運動悪くはない

うわけですよ。

聞 (北郷) シサンジなる読み

願ひします。

校長 挨拶の

ましかか

ますか。

校長 ミーサンで通しました

うわけですよ。

校長 読んでいたから、いざ他の本も

読もうとする時、くたびれて

いる。読む人は少

いんじゃないですか。

校長 人數の問題は多くても

少ない。数学の本を年がら年中

残っているからでしょうか。

校長 いいじゃないですか。

校長 確かにのみりしてい

ますか。

校長 確かにのみりしてい

ますか。

校長 まだ、数学の本を年がら年中

残っているからでしょうか。

校長 いいじゃないですか。

校長 まだ、数学の本を年がら年中

残っているからでしょうか。

(3) 昭和三十一年七月一日

あつ  
けなかつた記念祭

記念祭反省会より

ある。じつめのひじかハイアーをなくしたが、どうもうな意見も出だ。一回目に行ったスポーツは、リレー、マラソンの新しい企画がまことにあつたが、賞品などの点については、問題があるようだ。また、今年も例年通りABC対抗という形であり、いろいろの気持の今まで、入り口で、おあてひつたが、それにつけては三年度より質問が出た。具などを定期的に実行委員長から、それに対して執行委員長から、が優先してしまったが、定時制との交流を計る意味で意義のあることではなく、どちらのこと、などが申し立てがあつたが、定時制の分担がスムーズにならなかったが、最後に、新規会が統一して参加するのな執行委員会が担当する「個人」について、個人について、各クラブがマサカかけたと

去る10月16日より18日まで開かれたわが校記念祭は、天候の都合により、20日にファイナーを行って、無事その幕を閉じた。各人色々と、貴重な経験をし、また楽しく過したと思うがわれわれはここで、丸ひと月経たが、第11回記念祭を振り返り、ひと月前の思いに浸って×

成功裏に終る一

×もううべく、また、何らかの反省をし、今後のために役立てるがために、ここに記念祭特集を載せるものである。この機会に記念祭を大いに語り、記念祭前のクラスの協力を思い起し、今後クラスをより正しき方向に向けるよう努力しようではないか。

# 評劇 好評博した「父帰る」

テーマの良かた

好評博した「父帰る

意欲的だ  
た  
の  
一  
回

記念祭の最後を飾るはずでし  
あつたブライダルは、あくに決  
く最終日に台風がきてやむた  
なく延期となり、翌日各清  
掃、後片付けの後に決行とな  
け

行の運びとなつたのである。だ」と連絡があり、やつとせと言われ、六時頃には勤務員のホースにより、火は燃え、ファイアーハーは終了した。しかし、その後各クラスごとに輪を作り、サッカー場を回るなど、それでも家に帰つた。

映画は松竹

# 人間の条件

自然科學書  
海外雑誌  
社会科学書  
自由ヶ丘駅前  
**不二屋書店**  
TEL(717)6888, 6889

果実なら何でも  
西村果実店  
柿ノ木坂下  
TEL (712) 1635

ボルツ

装開店 山葉ピアノ・オルガニズム  
楽譜・音楽書  
レコード・電  
松田屋楽器店

# 新聞部員 を募集し ます

一般に見て練習不足の感は  
たが、スポーツの中心を成  
り、イトが金賞にみなぎって  
特にリレーとマラソンは色  
面で成功した様だ。

新聞部・松川守る会の「松川組末な文集を  
クラスのまと結晶である。  
」は、なぐりもなく、文章に満ちかつてゐる。クラスが良  
いといつたが、なむかうではなかつたからである。

出したようだ。資料を色々集  
たり、討議をしたり、仲々大  
だった由。訴える力が弱かつ  
との声があった。  
天気発行の「台風十号」は、  
取り止めたのである。その  
努力があれば、さに田圃されて  
てぬづらしがうつれていた。  
加出来たので

風邪気味う少し秋月があつたらしく思わ  
だが、それれた。歌の歌い方にしても  
炎に圧倒さもう二工夫欲しかった様に思  
ながら歌い、える。  
しかし無事に終つて何より  
心に達した所であつた。

# 自由ヶ丘松竹劇場

握ると共に、主体性を持つこと、リーダー・シップを確保していく。かねばならない事を強調しました。それが果して、どの程度実践され、成果をあげたでしょうか。それを個々の具体的課題を通じて検討してみましょう。

H.R.の強化については、押し付けがましい態度を取る事無しで避け、また、自ら会の活動内容を知つてもらい、H.R.討論の一助とするため、自己会員による運営を行なう事で、日本社会における問題を取り扱う事の必要性を認めるのはあり

現在、国内の番大きな問題はやはり内閣改定にしてしまったのであるのか調べてみたい。

政府のついてる「自衛隊設立」による安保改定は、「防衛」と「内閣改定」の間に「内閣改定」が「内閣改定」の復活」「自衛隊の核武器の擁護」「軍事費の移行」等々の辺りで問題が潜んでいた。

「自衛隊設立」による内閣改定は、「内閣改定」の復活」「自衛隊の核武器の擁護」「軍事費の移行」等々の辺りで問題が潜んでいた。

るものであろうか？ 無闇  
表つていて良い問題であ  
る。はたしてわれわれが黙つ  
たらどんな事になるのか。

解りに近  
出上文化の出上

自治活動総括

加藤 卓爾

決策を見つ  
れからの自  
の力や、現  
を考慮し、  
懇・都高連  
して消極的  
の発展促進等の問題、部属個々

校友会設立により、それが中心  
となつて改善を計るに期待を  
かけましたが、平常の事務活動  
を円滑にかたづけるのみに留ま  
り、後半には積極的活動は見ら  
れず、部室や練習時間や文化部  
の運営等で問題が生じた。以上で三十四年度前期

足が主であり、連絡を教  
密にするという事を誤解  
もありましたが、眞剣な意  
点がありました。この問題もついての  
努力したつもりですが、彼らの問題でもついての  
事と取り組む上に多少  
なったかも知れません。

ある問題で、自治委員  
た態度が教師側の干涉  
たように受け取られた点は、  
足が主であり、連絡を教  
密にするという事を誤解  
もありましたが、眞剣な意  
点がありました。この問題もついての  
努力したつもりですが、彼らの問題でもついての  
事と取り組む上に多少  
なったかも知れません。

なわが、米国は好む時に好む行動により日本に手出しが出来るし、日本が条約に背いた時は、遅慮なく条約違反だと云つて軍事行動をとる事が出来る。内乱が国民的規模となり条約を無視する事もなれば日本の要所要所に於ける原子戦部隊や、沖縄の核武装基地が動き出すことはわかりきった事だ。日本国民にとっては、安保条約体制そのもので断ち切らなければ、眞の民族の由ではある、米国の方より編成も同様など、そつてやうに、核武装ではない、まだ、これを考へて、核武装の復活等と思つてゐるのは間違ひであると思つ。政府は、大いに、核絶対に行わない」と述べるが、「自衛のための基地であれば、持つてお運び」などとか「現在の情勢が、たゞ核兵器持ち込みの方針すわけにはつかぬが、原爆は賛成である」等とまでいふことは、いつまでも時代錯誤といふべきである。

## 前期自治活動總括

ある問題で、自治委員  
つた態度が教師側の干涉  
たように受け取られた点は  
足が主であり、連絡を教

車の基  
ればな  
」  
われわ  
ある。  
たと核  
みなけ  
北海道  
艦隊を  
練をし  
然たる  
の賣い  
ゆくゆ  
うにな  
、これ  
う見だ  
れとは  
ては、  
批判が  
勢分析  
為だと  
を止め  
は、  
学校閉鎖等の学校当局

出來る時は、軍隊を著すに「核武装の復讐」等と思つてゐるのは間違つてゐる。要所要所で、内乱を惹起するには、大ひたび「核武装ではない」などと思つてゐるのは間違つてゐる。が、自衛のための核武装ではないと述べる。が、自衛のための核武装であれば、持つてお運んでおかなければ、現在の情勢からいへども、核兵器持ち込みの方が多い。すわけにはつかぬが、原爆は賛成である。等と語り、いつまでも日本民族の民族性にこだわつてゐるのは間違つてゐる。

松川講演を聞いて

家族のものによれば  
も信用できません

真剣に討  
も強いて  
んな提案  
ら実現性  
等、  
うのは  
てみると  
界の雪解  
らぬ草抜  
を急いで  
何十万と  
あやまち  
をして居  
るのだから  
はわれわれ  
つながるのである  
期限は十年

てからじみは決して疑わない。が、広澤氏もいわれたように警察官側は無理矢理に虚自由をさせ、事件内容を証拠もなしに作つてしまつたような事を何故しなければならなかつたのか。その辺は金然察しがつかないわけでもないがその行動は許しがたいことである。

また広澤氏は現在有罪の判決を受けている人達を、その当夜のはつきりとしたアリバイを主張している者がいるといわれ、その幾つかの証言を発表されたがそれによると現被告人の数人は、主犯あるいは共犯者でないことが明示されている。

しかし警察側では知人または

田代寿子は「家あめうが同は私犯はは然必お口は解はれ」といふ事件について、その原因を尋ねられた。田代寿子は「事件は起つた。だがその後の内容がどうもおかしかった。なぜかといふと、事件が起つたのは、その年に、車転覆事件が起つたからだ。」と述べた。

金軍縮宣言が国連でも真剣に討議せられ、実現の可能も強いのに、日本の政府が“あんな提案は夢想にすぎない。何ら實現性のない空論ではないか”等と、ロクな検討もしないどころか、実際に國際情勢を眞諷していくといわねばならない。世界の瞭解に逆行して、軍縮ならぬ軍拡を敢えて行い、核武装を怠いで原水爆の洗礼を受け、何十万どいう國民を死なせ、“あやまち

安保研究会発足

完璧主義を行わない限り、世界は永遠のままではある。しかし、人間の力で減んでいくだら、何百万何億という、どうして安政改定は、國體として、特に若い年代にとて、何よりも、最も危険なものである。

く變つて  
國と董事  
は時代の  
ために極  
らす因と  
われる。  
が十年内  
われわれ  
かも知ら  
ただ死に  
なる危険  
隊のよう  
戦基地に  
地にじよ  
立を得た  
立を得た  
われわれは  
見えない。  
われわれは  
見えた。あの  
の人間でない人間を、双  
魚を。彼らは、われわれ  
で呼びかけていた。“金  
すべての國家が、核兵器

終了させを行なつた。これはかつたのと宣伝は、公開通告さえも現行条規次氏)と見れば、緊張緩和に向ひ、に向ひ、アの集団安保体制の樹立アの非核武装・中立地域など多くの構想が出てく、しかし、日本のはるべきの仕事は、中立化を世界に訴え、認識してもらひ、あるう。日本が、いかないに、ブロックにも入らず、中止して、平和憲法をかどり、縮にも進んで賛成すれば、

来る十月二十四日、都立のより安保研究会が発足し、現在の社会情勢、特に日本國の永久の基地になつたり武裝をして増え、世界の軍事逆行したり、再び戦前の帝國に戻して、これからは我々の利益にならぬものは、我々の手で取り除くのである安保改定を見て、

し な う う 間 間 と  
離 結 る が そ 資 を は 偶 か て シ は

に張れ隊同に一は笑

かねばならぬ」と、有志が集り、結成を行  
ある。人員の構成は、  
主体をなしてゐるが、一  
年生も参加している。

終了。かつては祭の通告も現と見えたが、次回は祭の通告も現と見えた。

とで  
ので  
生が  
生、  
教室  
たが  
じて  
の時  
ヌン  
じう  
代  
研究會

見た。あの  
人間を、双  
眼鏡で、  
わざわざ見  
てゐる。金  
が、核兵器  
平和な日本  
を保つた  
ことで、いか  
にか。  
平和のみ  
の流れにそ  
だとうか。  
中立への闘  
争、世界の繁  
り、民族を  
平和な日本  
を保つた  
ことなどを知  
ることを知

・中立地域の体制の樹立、保険条約をなす、米ソ中印の立化を世界としてあらうとして、いかなる法をかざし、成すれば